



冬、コガモがやってきました

冬に日本へ飛来する鳥のことを冬鳥と言います。その代表が「コガモ」です。コガモと言っても、子どものカモのことではありません。一番小さい淡水ガモだから、漢字で書くと「小鴨」です。

雄は頭が茶色、目の回りから首の後ろがやや光沢のある紺緑色をしています。お尻には黄色の部分もありカラフルですね(写真上)。雌は、茶褐と白のまだら模様で雄に比べると少し地味な感じです(写真下)。動物の世界では、雄の方がおしゃれな場合が多いですね。

また、上の雄の写真ではコバルトグリーン、下の雌の写真ではコバルトブルーに見える部分を翼鏡よくまうと言います。翼の鏡、かっこいい名前ですね。色の違いは雄と雌の違いではありません。光の当たる角度によって、雄でも雌でも金属光沢のある青色や緑色に見えます。この翼鏡、群れて行動したり飛んだりする時に互いに認識し合ったり、後続の仲間からの目印になるなどの大切な役割があります。

一昨年のコガモ初飛来は11月21日で、翌年4月16日まで最大12カップル・24羽が林泉の池にいました。割と長い期間いますから、寒い季節ですがぜひコガモたちに会いに来てください。

ちなみにこの冬の初飛来は11月13日と、例年よりも一週間ほど早めでした。この冬は寒くなる予感…?



雄



雌

森の日記

ちびっこ広場が「芝生広場」へ

昨年9月に完成したちびっこ広場の大型木製遊具「TOKIMEKI GATE(トキメキゲート)」は連日の大人気!しかしその周辺は設置のための基礎工事で地面は土がむき出し、石ころゴロゴロと荒れ放題の状態が続いていました。しばらくの間迷惑をお掛けしましたが、11月初旬、芝を敷き詰め整備を行いました。

春から初夏にかけて芝は伸び、景観もよくなって、ふかふかの「芝生広場」となることでしょう。暖かくなったら、家族皆さんでぜひ陶史の森へお越しください!



教室のご案内

1月

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)
1月28日(日) 午前9時~11時30分
真冬の野鳥を観察します。

2月

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)
2月25日(日) 午前9時~11時30分
真冬の野鳥を観察します。

真冬は木々の葉っぱが落ちてしまっているので野鳥と出会う絶好のチャンスです。希望者には双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出します。気軽に申し出ください。

お知らせ

12月29日(金)~1月3日(水)は、休園します。